

日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2014 年 6 月号 (June 2014)

発行 日本英文学会東北支部 〒981-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内
TEL022-264-6401 FAX 022-264-6530 Email: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長報告

日本英文学会東北支部長 箭川 修

札幌の爽やかな気候の下で行われた第 86 回大会に参加された会員の方々も多数いらしかったことと思います。

大会前日には理事会・評議員会が開催されましたが、昨年 4 月から本格的に動き出した会長支部持ち回り制度により東京大学・関東支部に依存する体制を改めつつ、日本英文学会は支部の集合体として運営され、本部と各支部はそれぞれに運営状況を監視し合う体制となっています。

こうしたチェック体制のもと、東北支部では、本部から指摘された支部会計の健全化のために、2012 年度から開始した「東北支部英文学研究振興事業」のうち、若手研究者のためのトラベルグラントについてその適用範囲の縮小を行いました。今年度にもさらなる対応が求められており、現在、支部理事会において検討を行っています。

本部の財政にはかなり厳しいものがあります。主な理由は、会員数の減少、学会が発行する出版物における広告収入の減少、国庫補助金の減額などですが、どれも速やかに改善できる見込みは乏しく、支出を抑える方向での対応が主とならざるをえません。もちろん、学会が事業として展開している活動—全国大会、支部大会、機関誌の発行、賞の授与、シェイクスピア祭、海外研究者招聘事情など—は法人としての日本英文学会の根幹をなすものであり、これらが縮小・廃止されることはありません。節約の可能性があるのは管理・運営に関わる部分で、理事会・評議員会の機能を十全なものに保ちつつ、可能な限りの節減を目指す方針が佐々木会長から提案されています。

東北支部においても根幹となる事業は継続していく必要があります。とりわけ、支部大会、支部論集『東北英文学研究』に関しては、会員の皆様の積極的な応募・投稿によってさらなる充実を目指して行きたいと考えています。

今年度は、日本英文学会の本部と支部両方の理事の改選の年に当たっています。支部理事の任期が 2015 年 3 月末日をもって満了するとともに、2012 年度の選挙によって選出され、2013 年 5 月の全国大会前日会議より就任した本部理事（任期 2 年）が 2015 年 5 月の全国大会前日会議をもって終了するためです（支部役員と本部役員の任期の満了日にはズレがあることにご留意ください）。本部評議員（任期 4 年）は今年度の改選の対象とはなっておりません。本部事務局が 8 月 31 日付で作成する会員名簿に基づき、9 月後半から 10 月初旬の時期に、全支部会員宛に選挙の通知と投票用紙を送付することになりますが、名簿作成時点で 2 か年にわたって会費の滞納があった場合には、会員資格が失われ、名簿から排除されてしまうため、通知自体が送付されないこととなりますのでご注意ください。支部会員の投票によって、東北支部の理事が選出されます。選出された支部の理事の中から、本部理事が互選で選出されることとなります。この選挙は全国の支部で同時期に行われ、各支部から選出された理事から、日本英文学会会長が選出されます。重要な選挙であることをご理解いただき、会員資格の失効にもご留意のうえ、忘れずに投票して下さるようお願いいたします。

今年度の支部大会は 11 月 29 日（土）～30 日（日）に弘前大学において、「国立大学法人弘前大学」との共催で開催されます。「共催」によって会場使用料の減額が見込まれ、支部会計としては大変に助かります。開催校をお引き受け頂きましたのみならず、多方面にご配慮いただきました弘前大学の会員の皆様には心より感謝申し上げます。この支部大会が充実したものとなりますように、会員の皆様の研究発表のご応募をお待ちしています。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることになります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がごございますのでご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。年会費は、本部会費 (7000 円) + 支部会費 (1000 円) です。

第 69 回支部大会の開催・国立大学法人弘前大学との共催について

2014 年 4 月 19 日に第 1 回理事会および大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。審議の結果、第 69 回大会は以下のように行われることになりました。

日時：2014 年 11 月 29 日 (土)・30 日 (日)

場所：弘前大学

支部長報告にもありますように、国立大学法人弘前大学との共催となります。それに伴って、大会 2 日目のシンポジウムを、学会会員以外の一般の方々にも参加可能とすることが、第 1 回大会準備委員会で決定されました。お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

研究発表応募要項

大会第 1 日目には研究発表を行う予定です。研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を 6 月 30 日 (日) までに MS Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

シンポジウムについて

大会第 2 日目に行われる予定のシンポジウムについては、現在次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆英文学部門：テーマ「オリジナルとアダプテーション」

司会・講師 古河美喜子 (秋田高専)

講師：土井雅之 (弘前大学)・中村隆 (山形大学)・吉田季実子 (二葉栄養専門学校)

◆米文学部門：テーマ「アメリカ文学とファンタジー」(仮)

司会 後藤史子 (福島大学)

講師：野口元康 (流通経済大学)・星かおり (東北学院大学・非)・宮澤文雄 (東北学院大学・非)・渡邊真由美 (福島大学・非)

◆英語学部門：テーマ・司会・講師ともに調整中

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

英文学部門：古河美喜子 (秋田高専) 竹森徹士 (宮城教育大学)

米文学部門：飯田清志 (仙台高専) 山田恵 (仙台白百合女子大学)

英語学英語教育部門：ルプシャ・コルネリア・ダニエラ (岩手県立大学) 長野明子 (東北大学)

開催校委員：奥野浩子 (弘前大学)

理事会報告

2014 年 4 月 19 日に、本年度第一回理事会が開催されました。以下にその議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2014 年度第 1 回理事会
議 事 録

日 時 平成 26 年 4 月 19 日（土）・15：00～17：00
場 所 東北学院大学土樋キャンパス 8 号館 3 階 第 1 会議室

出席者（順不同・敬称略）

支 部 長 箭川 修（東北学院大学）
副 支部長 佐々木和貴（秋田大学）
理 事 宇津まり子（米沢女子短大） 遠藤健一（東北学院大学）
大河内昌（東北大学）大西洋一（秋田大学）奥野浩子（弘前大学）
川田潤（福島大学） 鈴木亨（山形大学）
鈴木雅之（宮城学院女子大学）村上東（秋田大学）
※飯田清志理事（仙台高専）、石橋敬太郎理事（岩手県立大学）、岩田美喜理
事（東北大学）、金子義明理事（東北大学）は都合により欠席
事 務 局 福士航（事務局長） 井出達郎（事務局員）

議 題

- (1) 2013年度事業報告（資料1）
事務局が提示した事業報告が承認された。
- (2) 2013年度決算報告（資料2）
事務局が提示した決算報告が承認された。
- (3) 2013年度監査報告（資料2）
監査委員の遠藤健一理事と事務局より監査報告について説明があり、承認された。
- (4) 2014年度事業計画について（資料3）
事務局が提示した事業計画が承認された。
- (5) 2014年度予算について（資料4）
事務局が提示した支部予算が承認された。
- (6) 支部統合号の電子化に伴う『東北英文学研究』投稿規程改定について（資料5）
日本英文学会理事会にて、『東北英文学研究』投稿規程中の著作権に関わる変更が要請されたことを受けて、著作権に関する規程を削除することが事務局より提案され、承認された。また、論文転載の許諾に関して、全支部が統一した規程を採用することを、日本英文学会本部より提案されたことを受けて、規程の変更が事務局より提案され、承認された。

(7) その他

1. 若手研究者のためのトラベルグラントが1件審議され、申請額どおり助成することが承認された。
2. 今年度が理事改選選挙の年にあたっており、選挙日程が確認された。10月末に投票を締め切り、11月初旬に開票、11月中旬までに新理事を10名選出することが事務局より提案され、承認された。また、大河内理事より、10番目の得票者が同点で複数いた場合、現支部長・副支部長が、地域および専攻分野を勘案しながら、10人目の理事候補者を決定するようにしてはどうかと提案され、議論の結果、承認された。
3. 大河内理事より、研究振興事業を、東北支部の予算規模に見合った形に縮小させることが提案され、議論の結果、継続審議となった。次回の理事会までに、事務局が、規模を縮小した規程案を提案することとなった。

以 上

編集委員について

今年度の編集員は以下の会員が務めます。

英文学部門 大西洋一（秋田大学）鈴木雅之（宮城学院女子大学）中村隆（山形大学）

米文学部門 伊達雅彦（尚美学園大学）筑後勝彦（富士大学）村上東（秋田大学）

英語学英語教育部門 朝賀俊彦（福島大学）新沼史和（盛岡大学）富澤直人（山形大学）

事務局の体制について

東北学院大学准教授・福士航が事務局長を、同大准教授・井出達郎が事務局員を務めております。支部大会開催関係事務と会計を福士が、HP管理と出版関係事務を井出が担当しております。事務局へのご連絡は、電子メール（tohoku@elsj.org）をお使いください。

支部理事改選選挙について

上記の支部長報告と理事会議事録にもありますように、今年度は支部理事の改選選挙が行われます。2年以上会費が未納になりますと、会員資格を失い会員名簿から削除されてしまい、結果として支部理事選挙に参加できなくなってしまうので、ご注意下さい。会費未納の会員は、どうぞお早めに納入をお願い致します。支部理事選挙の投票に関する詳細は、9月後半から10月初旬の間に送付される通知をご覧ください。

各支部から選出された理事のなかから、日本英文学会会長が選出されることになります。日本英文学会本体の会長選出に関係する大変重要な選挙でありますので、忘れずにご投票をお願い致します。